

## 1. 略歴

- 1994年3月 東京大学文学部西洋史学専修課程 卒業  
1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程西洋史学専攻 入学  
1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科修士課程西洋史学専攻 修了  
1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 進学  
1998年10月～2000年9月 ロシア連邦ロシア科学アカデミー・ロシア史研究所留学（文部省アジア諸国等派遣留学生）  
2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 単位取得退学  
2005年10月 博士（文学）学位取得  
2006年9月 新潟国際情報大学情報文化学部情報文化学科 専任講師  
2010年4月 東京理科大学理学部第一部教養学科 准教授  
2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

近現代ロシア史

### b 研究課題

ヨーロッパの周縁としてのロシアから、20世紀史を捉え直すこと。

### c 概要と自己評価

ロシア革命100周年に関連して、2016年度末に単著『ロシア革命 破局の8か月』（岩波新書、2017年）を刊行し、2017年度にも池田他編『世界戦争から革命へ（ロシア革命とソ連の世紀1）』（岩波書店、2017年）はじめ、一連の論稿を発表した。二月革命と臨時政府の再評価を中心にして、ロシア革命についての最新の研究成果を発表し、社会に還元することができたと考える。2016年度・2017年度とも、ICCEES（国際中欧・東欧研究協議会）の執行委員会メンバーとして、国際的な研究者共同体の維持・発展に微力ながら貢献した。

### d 主要業績

#### (1) 著書

- 共著、池田嘉郎、塩川伸明、『東大塾 社会人のための現代ロシア講義』、東京大学出版会、2016.6  
編著、池田嘉郎、上野慎也、村上衛、森本一夫共編、『名著で読む世界史120』、山川出版社、2016.12  
単著、池田嘉郎、『ロシア革命 破局の8か月』、岩波書店、2017.1  
編著、池田嘉郎責任編集、『世界戦争から革命へ（『ロシア革命とソ連の世紀』1）』、岩波書店、2017.6  
編著、松井康浩、中嶋毅、松戸清裕、浅岡善治、池田嘉郎、宇山智彦共編、『スターリニズムという文明（『ロシア革命とソ連の世紀』2）』、岩波書店、2017.7  
編著、松井康浩、中嶋毅、松戸清裕、浅岡善治、池田嘉郎、宇山智彦共編、『冷戦と平和共存（『ロシア革命とソ連の世紀』3）』、岩波書店、2017.8  
編著、松井康浩、中嶋毅、松戸清裕、浅岡善治、池田嘉郎、宇山智彦共編、『人間と文化の革新（『ロシア革命とソ連の世紀』4）』、岩波書店、2017.9  
編著、松井康浩、中嶋毅、松戸清裕、浅岡善治、池田嘉郎、宇山智彦共編、『越境する革命と民族（『ロシア革命とソ連の世紀』5）』、岩波書店、2017.10

#### (2) 論文

- Yoshiro Ikeda, 「The Homeland's Bountiful Nature Heals Wounded Soldiers: Nation Building and Russian Health Resorts during the First World War」、『Adele Lindenmeyr et al. ed., Russia's Home Front in War and Revolution, 1914-22. Book 2: The Experience of War and Revolution』、201-220 頁、2016  
池田嘉郎、「Япония и Россия: пересекающиеся пути развития (1905-1945)」、『Русская и японская цивилизации: Исторический анализ становления и развития национальных идентичностей』、136-154 頁、2016  
池田嘉郎、「第一次世界大戦とロシア・リベラルのヨーロッパ認識：カデットを中心にして」、『ロシア史研究』、97、27-42 頁、2016.5

池田嘉郎、「トルストイ『戦争と平和』とロシア社会：祖国戦争100周年と第一次世界大戦に見る」、『SLAVISTIKA』、31、195-211頁、2016.6

池田嘉郎、「交差する日本とロシアの軌跡——1905年-1945年」、東郷和彦、A.I.パノフ編『ロシアと日本：自己意識の歴史を比較する』、107-128頁、2016.10

池田嘉郎、「ロシア革命は兵士を市民にしたのか」、『早稲田大学高等研究所紀要』、9、106-109頁、2017.3

池田嘉郎、「From the Meiji Emperor's Funeral to the Taisho Emperor's Coronation: Reporting the Japanese Imperial System in the Russia Press」、『Kimitaka Matsuzato ed., Russia and Its Northeast Asian Neighbors: China, Japan, and Korea, 1858-1945』、137-150頁、2017.3

池田嘉郎、「ロシア革命からソ連へ：実現したユートピアの歴史」、『思想』、1123、129-135頁、2017.11

池田嘉郎、「和田春樹のロシア革命史研究をめぐって：複合革命と「世界戦争の時代」」、『初期社会主義研究』、27、76-86頁、2017.12

### (3) 学会発表

国際、池田嘉郎、「Time and the Comintern: Rethinking the Cultural Impact of the Russian Revolution on Japanese Intellectuals」、The Culture of the Russian Revolution and its Global Impact: Semantics - Performances - Functions、LMU Munich、2016.6.4

国際、池田嘉郎、「Проекты установления республиканского строя в 1917 году: дискуссии о президентстве и парламенте」、Международный colloquium «ЭПОХА ВОЙН И РЕВОЛЮЦИЙ (1914 – 1922)»、ペテルブルグ、ヨーロッパ大学、2016.6.9

国際、池田嘉郎、「ロシア革命は兵士を市民にしたのか」、軍事的エトスの近代史、早稲田大学、2016.7.24

国内、池田嘉郎、「Временное правительство как правительство войны и революции」、ロシア史研究会年次大会、東京大学駒場キャンパス、2017.10.15

国際、池田嘉郎、「The Provisional Government and the East Within and Outside Russia」、The Asian Arc of the Russian Revolution: Setting the East Ablaze?、Yale-NUS College, Singapore、2017.11.16

国際、池田嘉郎、「The Crisis of Representation of the Sovereign in the Russian Revolution」、The Russian Revolution in the Long Twentieth Century、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、2017.12.8

### (4) 啓蒙

池田嘉郎、「日露戦争からロシア革命へ 国民国家というグローバル・スタンダード」、『中央公論』、131(4)、44-47頁、2017.4

池田嘉郎、「ロシア革命100年後の教訓」、『文藝春秋 special』、11(4)、135-140頁、2017.8

池田嘉郎、「世界史の中のロシア革命」、『歴史地理教育』、871、4-9頁、2017.11

### (5) 総説・総合報告

池田嘉郎、「第22回国際歴史学会議 済南大会に参加して」、『思想』、1102、104-112頁、2016.2

### (6) マスコミ

「ロシア革命100年 影響と教訓」、『東京新聞28-29面』、2017.2.21

「失敗としての革命描く」、『京都新聞9面』、2017.4.28

「ロシア革命100年」、『毎日新聞』、2017.11.3

「ロシア革命から100年～そのとき何が起きていたのか？激しい経済格差、エリートと大衆の乖離、国際協調と国益…現代への教訓を探る」、TBS ラジオ「荻上チキ・Session-22」、2017.11.7

「ロシア革命100年、レーニン5つの誤算」、『日経 BizGate』、2017.11.7

「変容する「革命」観」、『四国新聞13面』、2017.12.7

### (7) 教科書

『世界の歴史』、近藤和彦・羽田正（編）、執筆、山川出版社、2016

『世界の歴史』、近藤和彦・羽田正（編）、執筆、山川出版社、2017

### (8) 翻訳

共訳、K.O.Саркисов、「Сравнение идентичностей России и Японии после русско-японской войны (1905 - 1917 гг.)」、池田嘉郎、山脇大、『和解と対立』、東郷和彦、A.I.パノフ編『ロシアと日本：自己意識の歴史を比較する』、129-174頁、東京大学出版会、2016.10

### (9) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究B、池田嘉郎、分担者(代表者は東大外)、「ジャコバン主義の再検討：「王のいる共和政」の国際比較研究」、2016～

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 B、池田嘉郎、分担者(代表者は東大外)、「第一次世界大戦と民間人―「武器を持たない兵士」の出現と戦後社会への影響」、2017～

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

TBS ラジオ「荻上チキ・Session-22」出演（「ロシア革命から 100 年～そのとき何が起きていたのか？激しい経済格差、エリートと大衆の乖離、国際協調と国益…現代への教訓を探る」池田嘉郎×荻上チキ）（2017 年 11 月 7 日）

#### (2) 学会

ICCEES (International Council for Central and Eastern European Studies), member of the Executive Committee

JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）からの ICCEES 日本代表、JCREES 参与

ロシア史研究会委員（大会企画担当）

『史学雑誌』編集委員